（10・25日毎月２回発行　　昭和53年６月25日　第三種郵便物認可）

自治体 あいちの仲間

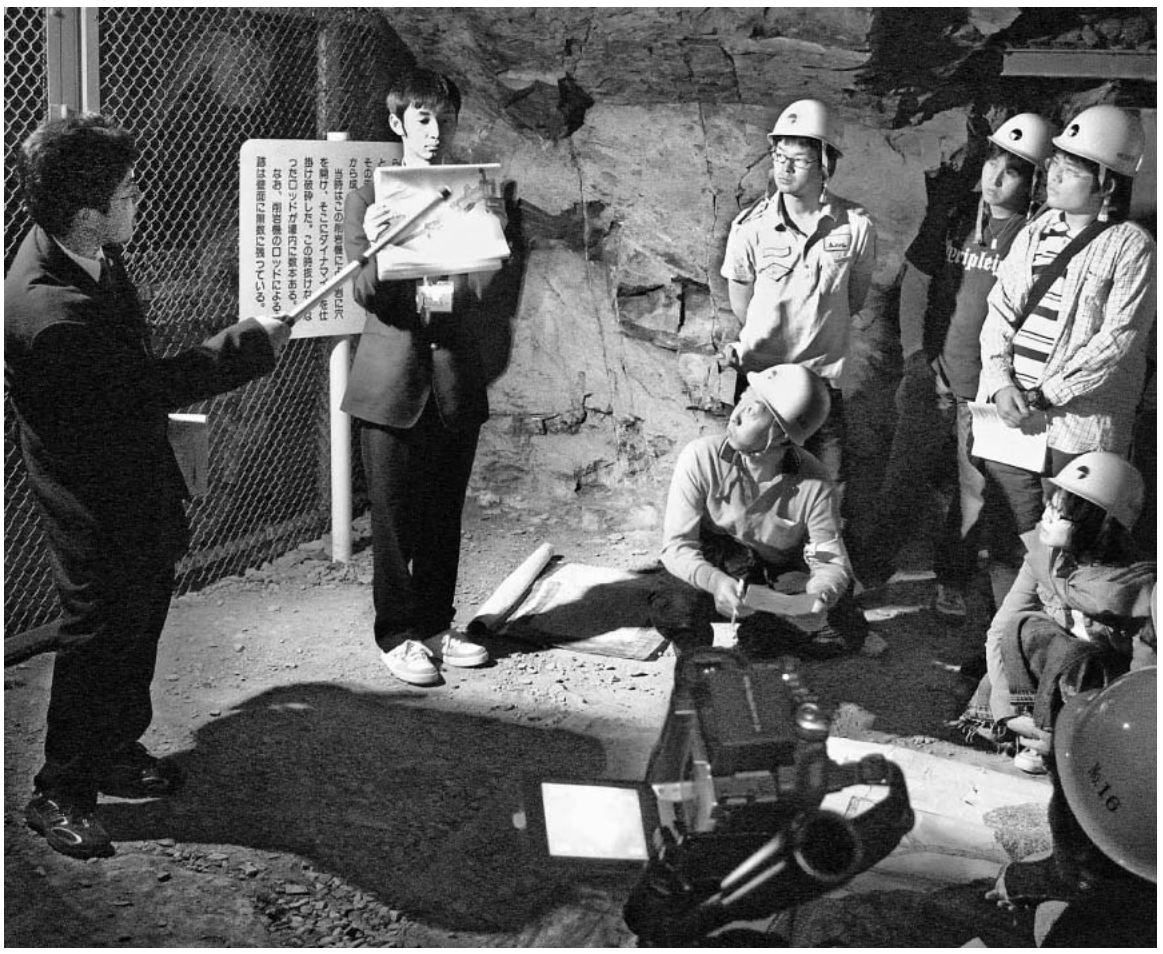
2008.5.25
No.965
発行責任者　梅野敏基　　定価　10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

発行所　自治労連愛知県本部　名古屋市北区柳原三丁目7番8号
ＵＲＬ　http://www.jaichi.jp　　TEL〈052〉916−2251
Eメール　info@jaichi.jp　　FAX〈052〉916−2308

革新懇
6・3講演と音楽の夕べ
と　き　6月３日㈫　午後６:30開会
ところ　中京大学文化市民会館
（金山・旧名古屋市民会館）
プルニエホール（中ホール）

戦争は夢や希望を奪い去る

5月17日～18日、県本部青年部のピースツアーが行われました。今回は『芸術を通して平和について考える』をテーマに、青年部員25人は、「松代大本営」がある信州へ向かいました。



最初の目的地は、参加者の多くが楽しみにしていた「安曇野ちひろ美術館」です。時間が穏やかに流れる広い公園の中に建てられています。多くの人に親しまれている、淡いタッチの絵に込められた、愛しい者、美しいものを守りたいという、いわさきちひろの情熱を感じることができます。

次に「戦没画学生追悼美術館　無言館」には、太平洋戦争で大きな夢を抱きながらも戦火に散ってしまった美術大学の学生などの絵画が展示されています。手紙や愛用品などの遺品も多く並べられており、静かで厳かな雰囲気の中、参加者は一言も発することなく、数々の作品を鑑賞しました。ツアー参加者と同世代の青年たちの青春が、戦火に散ってしまった事実に触れ、涙を流す人も多くいました。

そして、本土決戦に向けて、皇居や諸官庁を移設するために信州・善光寺平一帯につくられた地下軍事施設群「松代大本営」へ向かいました。戦況が悪い中、多くの朝鮮人労働者が動員され、過酷な労働を強いられ、短期間で10数キロの地下壕が掘られました。今回は長野俊英高校　郷土研究部のみなさんがガイドを務めてくれました。

上ー地元高校生のガイドを熱心に聞く参加者
下ー参加者みんなでハイポーズ！

芸術を通して平和の尊さを学ぶ

郷土研究部による「松代大本営」の調査・研究活動は、地域住民とともに20年以上にわたってとりくまれ、大本営の地下壕群の保存・公開に結びつきました。またその資料を展示した「れきみちの家」が建てられました。こうした活動をとりくんでいる高校生の解説は大変詳しく、当時の関係者の声が反映されたものとなり、真実に迫ったものでした。平和を訴える高校生の活動を見て、参加者が各職場・地域で何かできることはないかと考えるきっかけになりました。

今回のピースツアーは、芸術を通して平和の尊さを学ぶといった、いつもとは違った趣向のピースツアーとなりました。参加者からは「このような事実があったとは知らなかった。もっといろんな面から物事をとらえていかなくては」「今、自由に歌ったり、描いたりできることがどれだけありがたいことか、実感できた」「憲法改悪など、平和をおびやかす動向に恐ろしさを感じる。これからは組合の平和活動にも積極的に参加していきたい」などの感想が寄せられています。

なお、ピースツアーin長野の報告会が６月13日㈮19：30～労働会館で開催されます。

“平和だから自由に歌ったり描いたりできるんだ„

県本部青年部ピースツアーin長野

ようこそ新入職員のみなさん

港職労・学習交流会

「いい機会を作ってくれてありがとう」、港職労は5月21日、新規採用職員対象の学習会を開催し、大好評を博しました。今年度採用職員13人全員が参加し、港湾労働者の労働環境や物流形態について名港労協や組合書記長が講演。また、賃金・休暇、福利厚生制度などの学習も深めました。参加者からは「仕事の流れや互助会の得する情報が聞け大変いい機会になりました」と感想が寄せられ、「労働組合の必要性が理解できた」「他の組合の話も聞けて勉強になった」の意見も届きました。学習会の後の交流会は最高にもりあがり、また「やって欲しい」の声も出ていました。

中国四川省の大地震、ミャンマーのサイクロンの被災者支援カンパのお願い

被害にあった被災者に届けることを目的とします。ご協力お願いいたします。振込先等は組合にお問い合わせ下さい。

国保料の値上げ許すな！

国は住民と現場の声を聞け

国保改善運動学習・交流集会

愛知社保協主催の国保改善運動学習・交流集会が５月17日に開催され、93人が参加しました。

集会では、愛知社保協副議長の久保田武さんが「『後期高齢者医療』などの国保財政への影響について」と題して基調報告を行いました。久保田さんは、国保料（税）の値上がりについて、１９８４年に国庫負担が削減されたことが元凶だとし、社会保障としての国保を守り再生する運動を地域からとりくむことが大切と訴えました。

また、全国の状況として、札幌市で１世帯あたり５％の引き下げ、京都では市長選の取り組みとあいまって、１人あたり平均１万円の値下げを実施させた。その他、福岡、横浜、堺などでも引き下げていることが報告されました。

討論では、「政令市で１番の大幅値上げ」（名古屋）、「住民運動と議会での追求で、国保税を１人あたり４４００円引き下げさせた」（蒲郡）、「保険証の留置きが増えていて、豊橋でも２０００件くらいある」（豊橋）、「７団体の共同で国保料減免の取り組みをしており、７月に区交渉を予定」（南区生健会）などの発言がありました。

自治労連から参加した仲間は、「国保は、所得の低い人が多いなかで、保険料の仕組みを知ってもらう必要がある。予算は、トップダウンで決められており、現場の声は上に上がらなくて、労働組合として要求していくしかない。窓口で言われてもどうしようもない」（名古屋市職労）また、「文句の言うところ（相手）がないのが現場の人の声。低所得者の人のみ、苦しむことになる制度を変えていくことが必要」（名市職労国保推進員）という意見も出されました。

超過勤務の改善求め申し入れ

長久手町職労

長久手町職労は４月30日、超過勤務の改善もとめ、緊急の申し入れを行いました。新年度に入って、組織改編や人事異動などが重なる中、福祉課や保健医療課など、職場によっては通常を大きく上回る超過勤務の実態が生まれました。組合では、厚労省が99年に出した過労についての超過勤務のガイドライン、年間２５０時間以下にすることを労使で確認しています。しかし、現行の状態では該当職場の職員の健康に重大な影響が起こるとして緊急に改善を申し入れたものです。

申し入れでは、現在の人員が適正化かどうか、抜本的な改善を求めるのと同時に、緊急に実施できるあらゆる対策をとるよう求めています。組合の申し入れにあわせて、該当の分会による職場長へ改善の申し入れも行われました。

優勝は名古屋市職労チーム

県本部青年部第１回バスケットボール大会

４月19日、名古屋市港区の稲永スポーツセンターにて、県本部青年部第１回バスケットボール大会が開催されました。

このバスケットボール大会は、各単組の常任委員や青年部員の交流を目的として、今年度はじめて企画されたものです。

名古屋市職労、名水労、岩倉市職、犬山市職労、港職労の各単組と、愛労連・学習協より１チームの計６チーム、総勢55人の青年が和気あいあいとバスケを楽しみました。

今回のバスケットボールは、交流がメインということで「男女混合」「基本的にセルフジャッジ」といった簡単なルールで行ない、いざ試合が始まると好プレイの連続。一時も目の離せない名試合ばかりとなりました。

その中でも、一段と目を引いたのが女性の活躍。次々とシュートを決める各チームの女性陣に、観客も拍手喝采。「女性のポイントは２倍」という特別ルールもあり、勝利の決め手となるゴールも数多く見られました。

大会は、優勝が名古屋市職労、準優勝が犬山市職労ということで幕を閉じ、第２回バスケットボール大会での再会を誓って終了となりました。

その後、親睦交流会を行い、参加者はおおいに盛り上がりました。次回、あなたも参加してみませんか？

自治労連愛知県本部 結成60周年記念クイズ

下のクイズを解き、解答および名前・組合名・職場名をハガキに書いて送って下さい。正解者の中から抽選で60名に60周年記念図書カードを贈呈します。

送り先
〒４６２－０８４５
名古屋市北区柳原３丁目７－８
自治労連愛知県本部教宣部

締め切りは6月30日必着

ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

○○の中をうめてください。

自治労連愛知県本部は今年で結成○○年

クイズの当選者

９６２号の答えは「ネンドガワリ」でした。20通の応募があり、全員が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。

味岡　孝尚（豊橋市職労）
藤﨑　順子（豊橋市職労）
谷口美和江（西尾市職）
鈴木　弥生（西尾市職）
竹岡ゆかり（瀬戸市職労）
鈴木　貴子（瀬戸市職労）
松田　直子（長久手町職）
羽田　春美（犬山市職労）
鈴木　佳子（豊川市病組）
筒井　勝美（豊橋市職労）

単組定期大会役員紹介

碧南公務公共一般（５月10日）
執行委員長　小林　久枝
副執行委員長　浜野ゆかり
書記長　角谷　唯高

自治体一般安城ヘルパー分会（５月11日）
執行委員長　横山　恵子

副執行委員長　三崎久美子
〃　中山　民子
書記長　松本真奈美
〃　鈴木千香子
〃　川澄　幸代
会計　竹内　一美

なごや介護労組（５月17日）
執行委員長　神谷喜和子
副執行委員長　津山美千子
〃　舟橋　薫
〃　岡田　康子
書記長　横江　厚子

自治労連愛知県本部 2008年春闘機関紙コンクール実施します

○応募作品
第１種―政令・都市職の単組機関紙・ニュース
第２種―町村職の単組、政令・都市職の支部・分会の機関紙・ニュース
第３種―補助組織、職域部会、専門部などの機関紙・ニュース

○２００８年２月～５月に発行されたもの７部を県本部までお送りください。
○６月13日㈮必着
○審査発表と表彰
「１０１回愛知県本部定期大会」（２００８年７月19日）で第１種～第３種については、優秀賞１点、入賞数点を表彰し審査結果を発表します。